

広報 天の町

発行・秋田県天王町役場 TEL(天王)1.42.135
編集・企画室 印刷・一日市印刷 TEL(018875)2038

町のうごき

本籍数	4,731
本籍人口	15,019
世帯数	3,815 (3,815)
住民登録人口	14,073 (14,074)
内 { 男	6,813
女	7,260

8月1日現在
()内は7月1日現在



▲住民代表の質問に答える小畑県知事(左)
中央は財務事務所長、右は農林事務所長

湾岸道路を計画

知事、住民代表と語る

大規模は公害防止を前提に

◆ 県政に対する要望や市町村の日頃かかえて
◆ いる諸問題を直接聞き、県政に反映させる
◆ ことをネライとして、県内各市町村を巡回
◆ していた小畑県知事は、去る八月一日に本
◆ 町を訪れた。

◆ 当日は、約百名の各界代表者の方々と町公
◆ 民館で熱心に話し合いをした。

この話し合いでは、あらかじめ町当局や議会からだされたいた九項目にわたる要望事項に対して、知事から具体的な対策や方向などについて考えをのべられた。このあと、参加者から①農業振興 ②漁業振興 ③工業開発 ④道路整備などについて質問や要望がだされ、これらについて具体的な説明があった。

質疑の主なものは次のとおり
「大規模工業開発」
潤いのある生活

(問) 大規模工業開発の調査結果とマスタープランの作成について
(答) 大規模工業開発を推進するためには①なぜやらなければならないか ②開発

をしたら、どれだけの恩恵があるか ③ほんとうに公害は防止できるか ④自然保護ができるか—の四つの課題があると思うが、①②については、出かせぎの解消や他県へ流出する若年層の労働力を確保し、国内でも立ち遅れているといわれている東北、しかも、日本海沿岸にあって、この恵まれている地理的条件を充分活用して、農工一体の産業を開発し、県民に潤いを与えるものでなければならぬ。

また、③④については、常に人命尊重、福祉優先の方針をとっており、公害防止のためにはどんなに費用がかさんでも対策を講ずるし、工場用地の造成は埋め立てによって行うので、自然破壊はない、あってはならない。

(問) 休耕田の還元費に対して助成措置をしてほしい。
(答) きょう、ここでいくら金を出すかは約束できないが、何等かの措置を講じたいと考えている。

(問) し尿処理問題と下水道建設計画は、どのような方向ですすめるか。
(答) 現在、県では流域別下水道の整備計画を進めているが、早ければ昭和五十一年度には本管工事と終末処理施設の建設にとりかかりたい。また、これに基づく枝管については、町村で計画を立てては

し尿処理問題と下水道建設計画は、どのような方向ですすめるか。
(問) 追分三叉路の交通渋滞に対する県の考えについて
(答) 交通渋滞の解消と、産業道路をネライとして、



▲知事のお話しに真剣に耳を傾ける町長をはじめとする各界の代表の住民のみなさん

湖岸保育所 公営住宅 など着工へ

臨時町議会が七月二十六日に開かれ、専決処分五案件を原案どおり可決して同日閉会した。

案件の主なものは、持谷地区畑地総合整備、公営住宅第一種建設、追分老人の家新築、湖岸保育所新築の工事請負で、持谷地の畑地整備は八月一日から来年の三月二十日までの工期で、天王の(株)村山組(五千七百七十万円)、公営住宅第一種建設は八月十日から十二月二十五日までの工期で、仙台市の西松建設(株)(五千二百六十万円)、追分老人の家が八月一日から十一月三十日までの工期で、二田の伊藤組(一千五十万円)、湖岸保育所が八月一日から十二月二十日までの工期で、西松建設(株)(五千七百七十万円)と請負契約することに同意した。

また、今回一般会計に百八十五万八千円が追加され、総額は九億二千二十六万円となった。

10月1日
から

軽自動車も 車検を

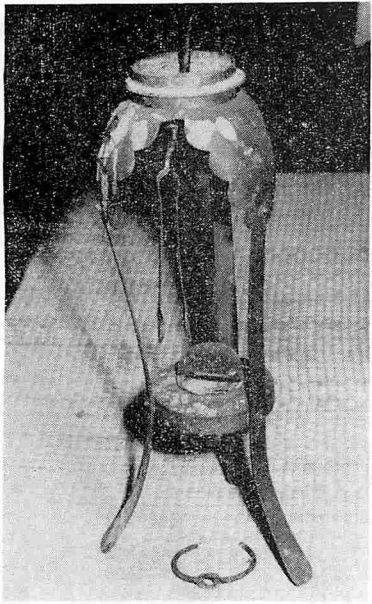
十月一日から軽自動車の検査が始まります。検査実施場所は、秋田市寺内字イサノ一三七の一(陸運事務所そば)、軽自動車検査協会秋

田事務所(電話三三三七〇)です。検査を受ける期限は、軽自動車届出済証の届出年月日より

違いますが、期限内に検査を受けないと車を使用できなくなります。◎検査を受ける時必要なものは次のとおり

- ①新規検査申請書
- ②軽自動車届出済証
- ③保安基準適合証(民間車検工場で整備した場合)
- ④保険証明書(保険期間が二年超過)
- ⑤印鑑
- ⑥検査手数料六百円(保安基準適合証提出は

届出年月日	検査期限
昭和41年12月31日以前	昭和48年10月
昭和42年1月1日から昭和42年12月31日まで	昭和48年11月
昭和43年1月1日から昭和43年7月31日まで	昭和48年12月
昭和43年8月1日から昭和43年12月31日まで	昭和49年1月
昭和44年1月1日から昭和44年4月30日まで	昭和49年2月
昭和44年5月1日から昭和44年8月31日まで	昭和49年3月
昭和44年9月1日から昭和44年12月31日まで	昭和49年4月
昭和45年1月1日から昭和45年3月31日まで	昭和49年5月
昭和45年4月1日から昭和45年6月30日まで	昭和49年6月
昭和45年7月1日から昭和45年9月30日まで	昭和49年7月
昭和45年10月1日から昭和45年12月31日まで	昭和49年8月
昭和46年1月1日から昭和46年3月31日まで	昭和49年9月
昭和46年4月1日から昭和46年6月30日まで	昭和49年10月
昭和46年7月1日から昭和46年9月30日まで	昭和49年11月
昭和46年10月1日から昭和46年11月30日まで	昭和49年12月
昭和46年12月1日から昭和47年2月29日まで	昭和50年1月
昭和47年3月1日から昭和47年4月30日まで	昭和50年2月
昭和47年5月1日から昭和47年7月31日まで	昭和50年3月
昭和47年8月1日から昭和47年10月31日まで	昭和50年4月
昭和47年11月1日から昭和48年1月31日まで	昭和50年5月
昭和48年2月1日から昭和48年4月30日まで	昭和50年6月
昭和48年5月1日から昭和48年6月30日まで	昭和50年7月
昭和48年7月1日から昭和48年8月31日まで	昭和50年8月
昭和48年9月1日から昭和48年9月30日まで	昭和50年9月



燈台(トウダイ)

これは室内用のもので、海上照明用のものは明治以後に発案した。この燈台は三ツ足で上部はロウソク立て、その下にハサミがある。このハサミは日本ロウソクのシンの不完全燃焼のため、黒く残ったカスをハサミするためのものであった。

民具の紹介

四百円

※検査を受けますと、検査標章(ステッカー)と検査証が交付されます。

検査標章(ステッカー)は、前面ガラスの中央上部にはってください。検査証は、自動車に備えつけてください。

自動車

運転競技会 に参加を

天王町交通安全協会連合会では、第五回自動車運転競技会を九月九日午前九時より、北日本自動車学校において開催することになり、多数の参加を得られるよう強くよびかけています。参加資格等については、次のとおりです。

- ▼受 付 九月九日午前八時より
- ▼競技種目 普通と二輪
- ▼参加資格 二輪及び普通免許を有している天王町

- ▼表彰 普通五位まで、二輪は三位まで
- ▼表 彰 外全員に参加賞があります。

秋田市駐車実態調査に協力を

マイカーの急激なふえかたとともに、自動車の都市集中化の傾向は年々多くなっています。この現象は、秋田市でも例外ではなく、都心部はもとより、周辺部までも路上駐車が目立ち、交通事故の原因ともなっています。

このため、円滑な都市交通を確保していくため、秋田市では駐車場整備計画の立案を急いでいます。

そこで、今回「秋田市駐車実態調査」を行い、市の自動車

毎日午後十時は「消防の時間」です。

おやすみ前に、火の元を確かめ、たのしい家庭を、火災から守りましょう。

◎夏期における火災予防一、調理室の火気使用器具は大丈夫か。

(イ)ガス器具の使い方は、正しいか。

(ロ)ゴムホースが、破損してないか。

(ハ)器具の設置場所は、安全であるか。

二、風呂場の設備は大丈夫か。

(ニ)煙突の貫通部はメガネ石を用いているか。

(ホ)煙突は破損してないか。

(ヘ)ガス器具の手入は大丈夫か。

三、寝室の火事の場合、避難できるようなになっているか。

(ロ)二ヶ所以上の出入口があるか。

(ハ)二階以上は避難口があるか。

(ニ)救急車の利用範囲について次のような時は、救急車を利

だけでなく、日常の業務等で特に関連のある隣接市町村の自動車をも対象に調査することになっています。

調査は、十月三日(水)の運行について、①車種別、②どこに駐車したか、③駐車時間は、④どんな目的で……など約一万二千人のかたを無作為で調査しますので、えらばれた方は、この調査にご協力ください。

毎月10日は防火の日

毎日10時は消防の時間

用できません。

一、災害による事故、(火災、水難、地震等による事故)

二、屋外での事故。(交通事故、工事現場での事故)

三、屋内での事故。(ガス中毒、骨折、薬物中毒、異常分娩)

四、公衆の出入りする場所の事故(学校、興業所、競技場)

五、その他、医師の診断の結果救急車を必要とする場合。

◎消防本部、消防署、分署の電話番号はつぎのとおり

男鹿地区消防本部 〇一八五二

男鹿地区消防分署 四一四一九

男鹿地区消防署 〇一八五二

男鹿地区消防署東分署 〇一八五二

男鹿地区消防署北分署 〇一八五三

新設される天王町分署と若美町分署は、十月一日から業務開始を予定していますので、当分の間は、天王町常備部(電話一九番)へご連絡ください。

身障害者の方に対し、一日でも早く本人が希望する仕事につくことができるようにと、特別相談室を設けました。

また、ろう啞者との職業相談は、民間人から「手話協力員」を委嘱して、特別相談を行っておりますので遠慮なくご利用ください。

※手話協力員による特別相談日

毎月第一、第三水曜日

時間 午後一時から午後三時まで

(注)他の障害者は、一般の方と同様に取扱っております。

秋田公共職業安定所では、心

特別相談室を設置

秋田公共職業安定所では、心

特別相談室を設置

秋田公共職業安定所では、心

特別相談室を設置

秋田公共職業安定所では、心

6日に敬老会 楽しいひとときを

ことしは445人

町では、ことしの「敬老会」を9月6日に行います。このつどいは、永年にわたり社会や町の発展に尽くしてきたおじいさん、おばあさんに楽しい老後を送ってもらおうと共々、長寿をお祝いするもので、ことしで22回目になります。ことしの該当者は、昨年より21名多い445名で、一番長寿の方は、二田の山下タケさん(89)です。当日は、バスで送迎し、民謡踊りなどで楽しく過ごしていただく予定です。



長寿の方々

◎印は、ハトづえが贈られる方です。

【塩口】桜庭梅之助70 桜庭喜六70 丸谷タケノ70 桜庭ナミ70 桜庭サダ71 桜庭ミエ72 石井喜助74 桜庭トメ75 桜庭亀藏76 桜庭キヨ76 桜庭ムラ76 桜庭リエ77 桜庭多市79 ◎木元カネ78 ◎桜庭久太郎78 石川キノ86 米谷チイ88

70 安田勘治郎71 鈴木ヨリ71 安田キノ71 安田スワ71 安田ヨキ71 安田トミエ71 菅生富江71 安田養七72 安田ツエ72 菅生喜代蔵73 安田安蔵73 西村才吉73 菅生周助74 安田金五郎72 鈴木金五郎74 安田赤六75 児玉トメ76 長谷山ミツ75 鈴木与七77 菅生常五郎77 安田仁七77 安田イネ77 工藤ミネ77 鈴木ノブ77 江島チヨ78 根スエ78 安田トヨ78 安田ミン78 鈴木タカ78 ◎児玉留吉79 ◎鈴木サタ79 ◎安田キノ78 菅生チヨノ80 鈴木ハル80 安田キノ79 安田利七81 鈴木サタ84

71 丹藏71 柏崎寅蔵71 小林義雄 71 京谷ツナ71 真柄ハル71 児玉タメノ71 石黒サタ71 鎌田ツナ71 児玉リサ71 三浦ナツ71 石黒幸蔵72 京谷ソヨ72 戸田チタ72 児玉ナツ72 児玉キヨ72 鎌田スナ72 小林ミヨ 72 沢木カズ72 相沢ミサ72 石川軍治73 内田銀治73 加藤伊三郎73 神馬幸助73 安東勇吉72 児玉政五郎72 児玉カネ73 長谷川カネ72 杉本喜之助73 児玉信一郎73 石黒セキ74 沼田トヨ73 菊地キン73 三浦金松75 村山卯之吉74 藤原三子74 石黒フク75 桜庭千代吉76 沼田要吉76 山片弘道76 柏崎新七76 西村菊治75 京谷シノ76 武石ノブ76 児玉カツ 76 柏崎チタ75 戸田龍太郎77 村山カネ77 戸田ハルヨ77 金子マツ77 石黒キノ77 鎌田サノ77 茂呂喜代治78 沼田キセ 76 沼田ツエ76 戸田チエ76 京谷仁左エ門77 石黒ナミ78

70 三浦清之助70 三浦セチ70 吉田チ子71 菅原寅吉72 吉田ナヨ72 三浦カネ72 三浦連吉73 吉田ヨリ73 三浦テツ74 浦山タキノ74 三浦トキ75 三浦チヨミナ75 吉田兼吉76 三浦チヨ75 三浦福太郎77 三浦甚之 77 吉田スゲ77 三浦カネ76 ◎吉田市太郎79 ◎三浦リエ79 ◎三浦キク78 三浦キヨノ80 和田ハナ80 三浦チヨ80 石井茂助81 三浦清之助80 吉田リ 83 三浦キノ80 三浦寅之助 83 吉田ハル84

70 三浦清之助70 三浦セチ70 吉田チ子71 菅原寅吉72 吉田ナヨ72 三浦カネ72 三浦連吉73 吉田ヨリ73 三浦テツ74 浦山タキノ74 三浦トキ75 三浦チヨミナ75 吉田兼吉76 三浦チヨ75 三浦福太郎77 三浦甚之 77 吉田スゲ77 三浦カネ76 ◎吉田市太郎79 ◎三浦リエ79 ◎三浦キク78 三浦キヨノ80 和田ハナ80 三浦チヨ80 石井茂助81 三浦清之助80 吉田リ 83 三浦キノ80 三浦寅之助 83 吉田ハル84

70 三浦清之助70 三浦セチ70 吉田チ子71 菅原寅吉72 吉田ナヨ72 三浦カネ72 三浦連吉73 吉田ヨリ73 三浦テツ74 浦山タキノ74 三浦トキ75 三浦チヨミナ75 吉田兼吉76 三浦チヨ75 三浦福太郎77 三浦甚之 77 吉田スゲ77 三浦カネ76 ◎吉田市太郎79 ◎三浦リエ79 ◎三浦キク78 三浦キヨノ80 和田ハナ80 三浦チヨ80 石井茂助81 三浦清之助80 吉田リ 83 三浦キノ80 三浦寅之助 83 吉田ハル84

70 三浦清之助70 三浦セチ70 吉田チ子71 菅原寅吉72 吉田ナヨ72 三浦カネ72 三浦連吉73 吉田ヨリ73 三浦テツ74 浦山タキノ74 三浦トキ75 三浦チヨミナ75 吉田兼吉76 三浦チヨ75 三浦福太郎77 三浦甚之 77 吉田スゲ77 三浦カネ76 ◎吉田市太郎79 ◎三浦リエ79 ◎三浦キク78 三浦キヨノ80 和田ハナ80 三浦チヨ80 石井茂助81 三浦清之助80 吉田リ 83 三浦キノ80 三浦寅之助 83 吉田ハル84

70 三浦清之助70 三浦セチ70 吉田チ子71 菅原寅吉72 吉田ナヨ72 三浦カネ72 三浦連吉73 吉田ヨリ73 三浦テツ74 浦山タキノ74 三浦トキ75 三浦チヨミナ75 吉田兼吉76 三浦チヨ75 三浦福太郎77 三浦甚之 77 吉田スゲ77 三浦カネ76 ◎吉田市太郎79 ◎三浦リエ79 ◎三浦キク78 三浦キヨノ80 和田ハナ80 三浦チヨ80 石井茂助81 三浦清之助80 吉田リ 83 三浦キノ80 三浦寅之助 83 吉田ハル84

70 三浦清之助70 三浦セチ70 吉田チ子71 菅原寅吉72 吉田ナヨ72 三浦カネ72 三浦連吉73 吉田ヨリ73 三浦テツ74 浦山タキノ74 三浦トキ75 三浦チヨミナ75 吉田兼吉76 三浦チヨ75 三浦福太郎77 三浦甚之 77 吉田スゲ77 三浦カネ76 ◎吉田市太郎79 ◎三浦リエ79 ◎三浦キク78 三浦キヨノ80 和田ハナ80 三浦チヨ80 石井茂助81 三浦清之助80 吉田リ 83 三浦キノ80 三浦寅之助 83 吉田ハル84

第20回町民運動会



天王が総合優勝

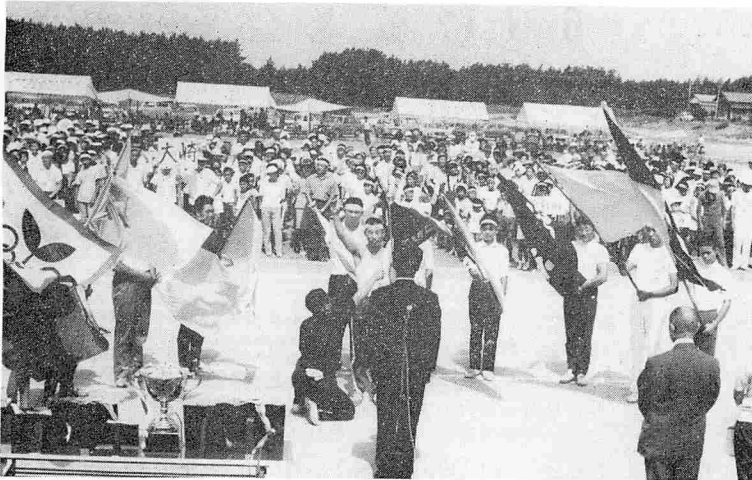
口元をあんまり動かさないで、タバコがかわいそう。(聖火リレー)

第二十回町民運動会(町、体育協会共催)が、八月十九日の日曜日、天王中グラウンドで行なわれ、雨あがりの強烈な日差しを浴びながら、参加十六部落で二十六種目の競技を楽しんだ。

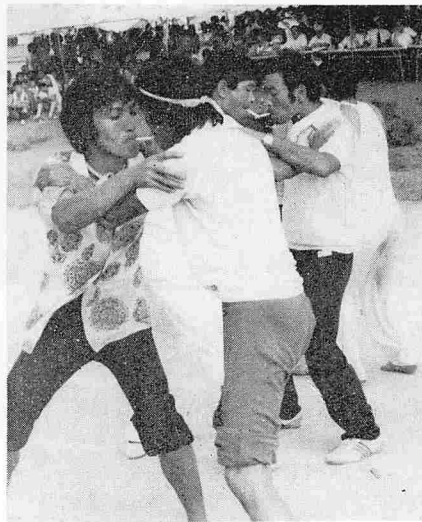
前日の風雨からは予想もできないほどの快晴に恵まれ、水銀柱もウナギノボリ、三十度を越す猛暑の中、競技に熱中、ひたひたに汗して青空を全身でうけとめ、健康な一日を過ごした。

総合優勝は、ことしも天王部落に輝き以下、中羽立、羽立の順となった。

この、町ぐるみのスポーツデーをカメラでキャッチしてみた。



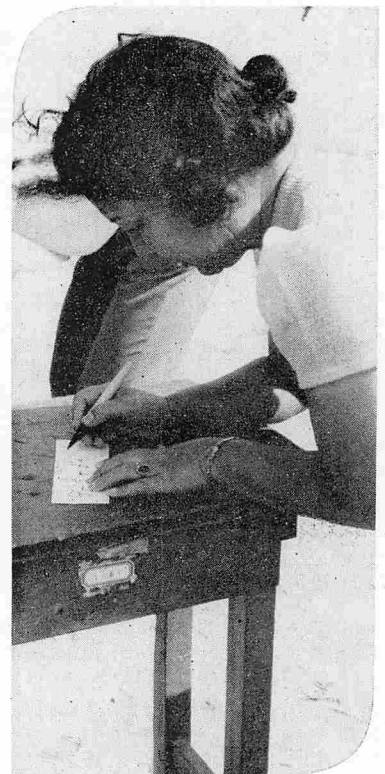
終にとく地を者々強菊進参加堂力の場正と王入落「す」天の部れまる、え、守技誓宣言見競宣言員



今大会、新たに競技種目に加えられた玉入れ競争



南洋じゃ美人—この容姿。ほんとうにそうかしら?
(仮装盆踊り大会)



9-5+3=? この真険な顔。あせつてませんか。
(計算競走)

種目別成績

- ▼総合
 - ①天王 ②中羽立 ③羽立
 - ④渋谷 ⑤児玉 ⑥大崎
- ▼玉入れ競争
 - ①中羽立 ②天王 ③塩口
- ▼百足競争
 - ①天王 ②羽立 ③二田新町
- ▼ボール送り競争
 - ①渋谷 ②二田新町 ③天王
- ▼生徒部落対抗リレー
 - 一部(百戸以上の部落)
 - 男子 ①天王 ②大崎 ③江川
 - 女子 ①大崎 ②天王 ③羽立
- ▼一般部落対抗リレー
 - 一部(百戸以上の部落)
 - 男子 ①渋谷 ②中羽立 ③児玉
 - 女子 ①児玉 ②鶴沼台 ③中羽立
- ▼二部(九十九戸以下の部落)
 - 男子 ①上出戸 ②渋谷 ③児玉
 - 女子 ①児玉 ②中羽立 ③渋谷
- ▼一部(百戸以上の部落)
 - 男子 ①天王 ②二田 ③羽立
 - 女子 ①江川 ②天王 ③塩口

健康への挑戦……

車いすで仙台へ

―追分の中川隆君―

「孤独との戦い―両足が不自由なにもかかわらず、仙台市まで車いすで挑戦した青年がいる。たったひとりである。この偉業を成し遂げた青年は本町追分長沼に住む、中川隆君(21)―五洋電子KK勤務―である。

中川君は、八月十三日朝に自宅を出発、三泊四日で仙台までの約二百五十三kmを走破した。仙台まで行ってみよう―という動機は別になかった、という。しかし、障害者でも旅行ができるということをおぼえたかった。もちろん不安はありましたが、腕や肩が痛く、途中で何度も帰ろうかなあ―と思っただが、行く先々の道道で「ガ

ンパレヨ―と激励のことばを投げかけてくれる人も多く、「何が何でもやり遂げよう」という気持ちになった―と語る。これまで淡々と語ってこれていた中川君も一瞬ためらったあと、「両親にも会社の方々にも心配をかけて……」

あとは何をいおうとしたのか聞きとれなかったが、多分、今度は、職場へ社会へ貢献します―といったかたのさだろう。

最後には、仙台市長から人生訓を書いた色紙をいただき、何かひとつやっておけば、いつかは役に立つ時がくると思っただけ―とキッパリいい切った。中川君は、四十五年にロンドン郊外ストークマンデビルで開かれた第十九回国際身障者競



▲8月15日
鬼首峠の前にて(秋の宮の友人写す)

技大会(パラリンピック)で金銀銅、三個のメダルを獲得したスポーツマン。
幼い頃、セキツイ性小児マヒで両足が不自由になり、県立養護学校を卒業後、東京市ヶ谷の福祉企業センターへ勤務、現在の五洋電子KKには、昨年の九月に勤務した。

「やればできるんだ」ということを、同じ仲間にはもちろん五体満足な人々も感じざるを得ないだろう。

「やればできるんだ」ということを、同じ仲間にはもちろん五体満足な人々も感じざるを得ないだろう。

「やればできるんだ」ということを、同じ仲間にはもちろん五体満足な人々も感じざるを得ないだろう。

心の健康も忘れずに!

= 8回目の健康生活推進大会 =

天王町健康生活推進委員会(藤原慶一郎会長)では、八月二十日、町公民館で第八回目の大会を開いた。これは―長寿の町天王を築こう―と、四十一年八月に同委員会が誕生してから毎年開かれていたもので、こととして八回目を数える。

大会には、助役、保健所長、県医師会長をはじめ、地区保健会などから三百名が参加した。

この大会の席上、特に保健活動、保健衛生の向上に努めた優良地区として、塩口保健会(石川金蔵会長)と町職員渡辺毅氏が表彰された。

引き続き特別講演があり、土崎小学校教頭の菅原一氏が「健康づくりと家庭生活について」

▲壮行会での神妙な面持ち
右から丸谷、大関、伊藤の三青年



3青年元気で帰秋

= 海外研修で見聞を広める =

八月十二日から十三日間にわたって青年海外研修団員として訪ソしていた塩口の丸谷昇君(26)と二田の伊藤清美君(21)と大関悦子さん(22)の三青年が八月二十四日、元気な姿を見せた。

これは、昨年から県が実施しているもので、外国青年との交歓などで、国際的視野を広めてもらうというのがネライ。丸谷君と大関さんはモスクワコース、伊藤君はシベリアコースへ参加した訳だが、これに先立ち、町では八月八日町公民館で壮行会を行った。

三青年は、社会体育施設の見学、ソ連青年との交流などをし仲間の連帯を深め、地域活動に役立てようとはりきっている。

人者を代表して「きょうの式典を土台として、郷土のために私たちが力をフルに発揮してがんばります」と、力強く誓った。

このあと、成人者たちは―身軽な服装で参加を―ということ、半袖シャツ、ワンピース、Tシャツ、Gパンなど、多彩なスタイルで、フォークダンスやゲームで、楽しいひとときを過ごした。

※今回、成人になられた方へまだ記念品を受けとっていない方は、至急町公民館で受けとってください。

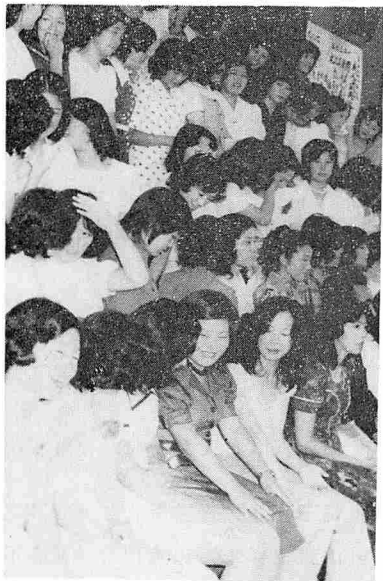
心豊かな若者に

成人者は 275人

四十八年度の町成人式が、お盆の八月十五日に町公民館で行われ、二百七十五人がおとなの仲間入りをした。

この式典は、次代をになう若い世代の門出を祝福し、明日へ向かって輝かしいスタートを切ってもらおうというものである。

式では、町長が「平等、公平安全の三原則をふまえ、積極的に社会活動に参加し、正義感と清潔感をもった心豊かな青年になってほしい」と祝福。これに対して、江川の児玉勝行君が成



▲記念写真30秒前、思い出話しをする人、ヘアスタイルを気にする人、若さがムンムン

